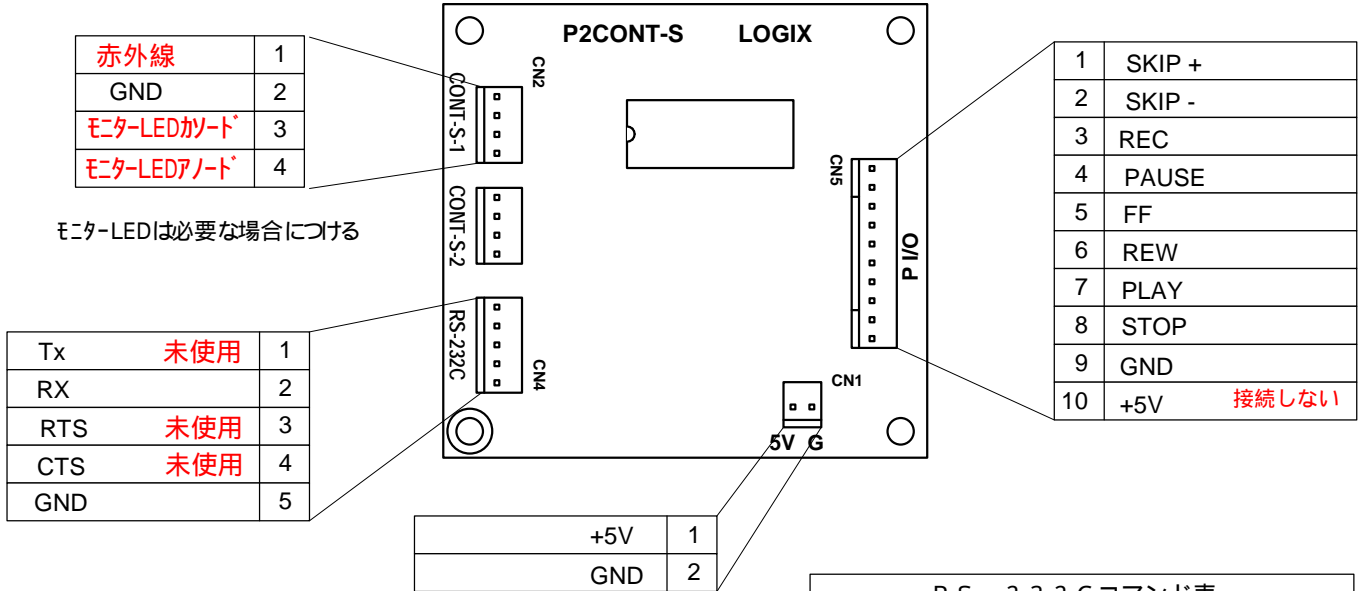


パラレル&RS232C 赤外線コマンド変換基板 説明書

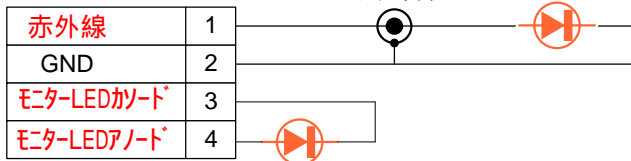
ソニー MD用

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。
 入出力の様子は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。
 注意点として、パラレル入力の信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で
 使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

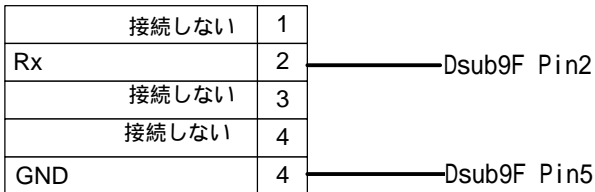


CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します
 (消費電力: 10mA以下)

CN2 : 赤外線出力



CN4 : RS-232C入力



CN5 : パラレルコントロール入力



これらの端子をGNDに接続すると、該当す赤外線信号が出力されます。
 この信号はグラウンドにショートしている間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。

RS-232Cコマンド表			
コマンド名	上位4BIT	下位4BIT	キャラクタ
STOP	0x7	0x1	q
PLAY	0x7	0x2	r
REW	0x7	0x3	s
FF	0x7	0x4	t
PAUSE	0x7	0x5	u
REC	0x7	0x6	v
SKIP -	0x7	0x7	w
SKIP +	0x7	0x8	x
EJECT	0x7	0x9	y

(有) ロジックス

857-0055 長崎県佐世保市湊町2 - 15

電話 : 0956-25-3963
 FAX : 0956-25-3964

WebPage : www.lgx.co.jp

E-mail : logix@lgx.co.jp